

農場と食卓をつなぐフィールド演習

食卓にのぼる農作物がどこでどのように作られ、どのような経路を辿ってそこにあるのか知っていますか？



神戸大学の食資源教育研究センターは、2014年より「農場と食卓をつなぐフィールド演習」を開講し、食と農への理解を深める取り組みを行っています。

このプログラムは農業を学ぶことに加え、収穫の喜びを感じ、生命を食するまでを体験する演習で、今年は9月3日～9月5日の日程で実施します。実際の生産フィールドでなければ味わえない五感を使った体験の中で、農業と自分とのつながり、食べ物の有難さ、食の安全性などを学びます。また演習の一環として、当センターの生産物を主体とした試食会を開催する予定です。



受講登録の詳細については、「大学コンソーシアムひょうご神戸」のウェブサイトを参照してください。
(受講人数には上限があります)

大学コンソーシアムひょうご神戸

検索

2025 年 演習予定

9/3	午前：ガイダンスと施設案内 午後：ブドウ果実の観察と収穫
9/4	午前：夏野菜の収穫 午後：ウシの飼養管理
9/5	午前：イネの収穫と農薬 午後：振り返りワークショップ

農業の抱える課題を知ることができた

食べ物の大切さを感じた

食べ比べがよかった

2度とできない経験ができた



食資源教育研究センターは兵庫県加西市にあり、総面積 40 ha の広大な敷地で、ウシ、ナシ、ブドウ、イネ、バレイショ、タマネギなどの生産と教育研究活動を行う神戸大学の附属施設です。センターへは神戸市灘区の六甲キャンパスからチャーターバスで移動し、期間中は敷地内の宿泊施設に滞在します。農業の楽しさと大切さを牧歌的な風景の中で感じてみませんか？



国立大学法人 神戸大学大学院農学研究科附属

食資源教育研究センター

〒675-2103 兵庫県加西市鶉野町 1348
TEL: 0790(49)0341 FAX: 0790(49)0343
www.edu.kobe-u.ac.jp/ans-foodres/

